

果樹カメムシ類の防除を徹底しましょう!

令和7年5月
栃木県農政部経営技術課

主要なカメムシ類



チャバネアオカメムシ
果樹園に飛来して
果実を吸汁加害



クサギカメムシ



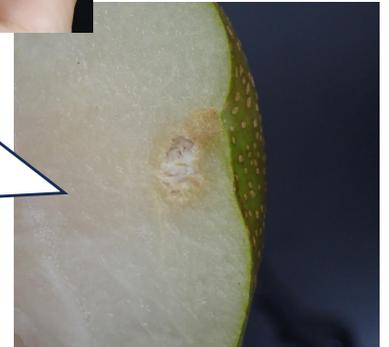
ツヤアオカメムシ

被害の様子



吸汁された
果実は奇形
果となる

果肉内部は
スポンジ状と
なり、品質が
著しく低下

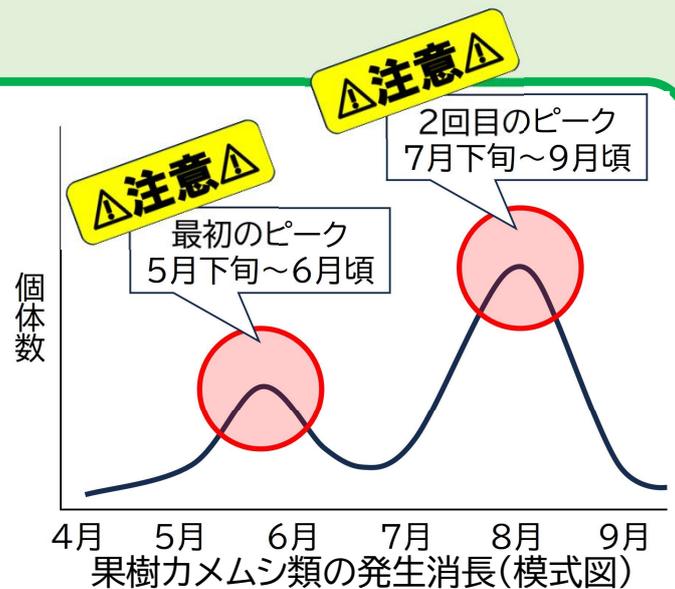


～令和6年の状況～

前年の個体数増加と暖冬で多くの個体が越冬したことに加え、4月の気温が平年より高かったことから、例年より早く活動が活発化し、その後の被害に繋がりました。

具体的な防除対策

- 果樹カメムシ類の発生ピークは、例年5月下旬～6月頃と7月下旬～9月頃の年2回。
- 発生予察の情報収集と、ほ場内(特に周縁部)観察をこまめに行い、**必ず飛来を確認したら**薬剤防除を実施しましょう(過剰防除にならないように注意!)
- 多目的防災網の設置園では、開花期終了後直ちに展張し、カメムシ類の侵入を物理的に防ぎましょう。



多目的防災網